

CLUSTER GEAR

PSS-108-CG
取扱説明書



ジリオン・ネットワークス株式会社

次のような用途にご使用される場合は、十分な配慮が必要となりますので、事前に当社にご相談ください。

命に直接かかわるシステム

社会的・公共的に重要なシステム

その他、機能維持に重大な影響をおよぼすシステム

安全上のご注意

注意

交流 100V 以外では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

必ずアース線を接続してください。

感電や誤動作の原因となることがあります。

雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れないでください。

感電の原因となることがあります。

この装置を分解・改造しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

直射日光の当たるところや湿度の高いところに設置しないでください。

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。

落下して、ケガ・故障の原因となることがあります。

この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置してください。

ケガ・故障の原因となることがあります。

イーサネットポートに 10BASE-T 以外の機器を接続しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。

商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい所からお取りください。

この装置の電源を切るときは電源コードをはずしてください。

この装置を清掃する際は、その前に電源コードをはずしてください。

仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。

この装置を高所に取り付ける場合は、ネジなどで壁面に確実に固定してください。

RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイスト・ペア・ケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。

静電気により故障の原因となることがあります。

コネクタに接続されたイーサネットケーブルを帯電するものの上や近辺に放置しないでください。

静電気により故障の原因となることがあります。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害、および本装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。
4. Microsoft Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

CONTENTS

目次

1. お使いになる前に	
1-1 本商品でできること	1
1-2 箱の中身を確認しよう	1
1-3 各部の名称とはたらき	2
2. 接続方法	
2-1 接続方法	4
3. 初期設定	
3-1 コンソールで接続	6
3-2 ログイン	6
3-3 メインメニュー	7
3-4 システム設定	8
3-5 UPS 設定	9
3-6 TMP 設定	10
3-7 SNMP 設定	11
3-8 セキュリティ設定	12
3-9 フィルタ設定	13
3-10 ユーザ設定	13
4. Web での操作	
4-1 Web で接続	14
4-2 ログイン	15
4-3 操作画面について	16
4-4 電源制御画面	17
4-5 リアルタイムモニタ画面	18
4-6 設定	19
4-6-1 システム設定画面	19
4-6-2 電源制御設定画面	21
4-6-3 UPS 設定画面	22
4-6-4 温度設定画面	23
4-6-5 ping 監視設定画面	24
4-6-6 通報トラップ設定画面	25
4-6-7 通報メール設定画面	26
4-6-8 セキュリティ設定画面	27
4-6-9 WakeUpLAN設定画面	28
4-7 リセット画面	29
4-8 ログアウト画面	30
5. TELNET サーバ機能	
5-1 TELNET サーバへの接続	31
5-2 コマンド書式	32
5-3 コマンド実行例	32

6. SNMP 機能	
6-1 SNMPの使用	33
7. ソフトウェアの使用	
7-1 ソフトウェアの特徴	34
7-2 シャットダウンシーケンス	35
7-2-1 「電源制御」画面からSET操作をした時のシーケンス	35
7-2-2 停電発生時のシーケンス	35
8. お困りのときには	
8-1 トラブルシューティング	36
9. 付録	
9-1 製品仕様	38
9-2 お問い合わせ・ユーザ登録	38

1

お使いになる前に

1-1 本商品でできること

本商品は、下記の機能を提供します。

- 接続機器の電源制御が可能です。
(Web、SNMP から操作が可能)
- UPS ポート (シリアルまたは接点) に接続された UPS を遠隔管理 / 制御することが可能です。
- 停電発生時に UPS と連動して接続された複数のコンピュータや通信機器のバックアップ処理を自動的に行うことが可能です。
- Eメール、SNMP トラップでの通報が可能です。
電源制御が行われたとき
ping に対する応答がないとき
温度異常があったとき

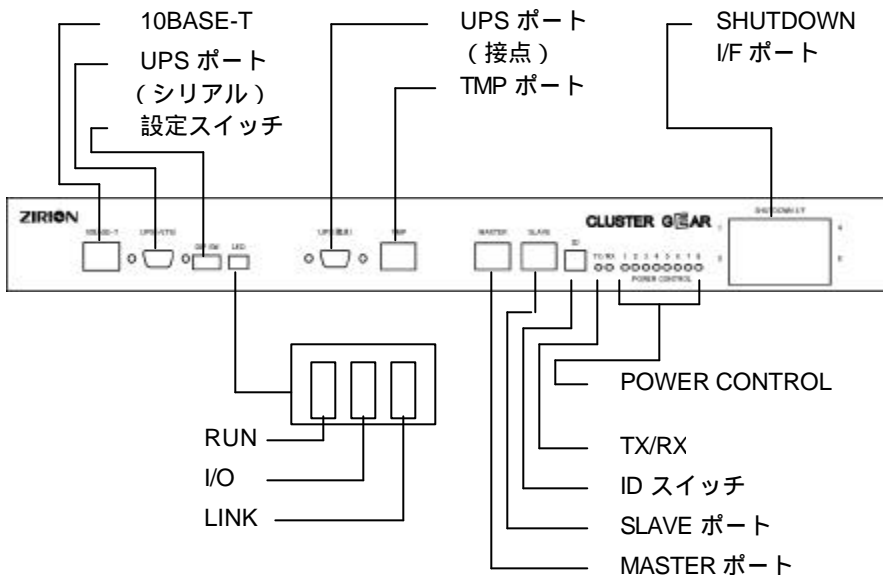
1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

構成品
1. 本体
2. マニュアル
3. ラック取り付け金具 (2 個)
4. ネジ (ラック取り付け金具用) (8 本)
5. 設定用ケーブル
6. ソフトウェア使用許諾書
7. CD (1 枚)
8. ゴム足 (4 個)

1-3 各部の名称とはたらき

前面図



【LED 表示】

LED の種類	LED のつきかた	本商品の状態
RUN	橙（点滅）	正常に動作しているとき
	橙（点灯）	動作に異常があるとき
I/O	橙（点滅）	シリアル通信中
	（消灯）	リンクが確立されていないとき
LINK	橙（点滅）	パソコンとのデータ送受信中
	（消灯）	リンクが確立されていないとき
TX/RX	（点滅）	本商品の内部通信で使用します。
	（消灯）	本商品の内部通信で使用します。
POWER CON TROL	緑（点灯）	アウトレットの出力があるとき
	（消灯）	アウトレットの出力がないとき

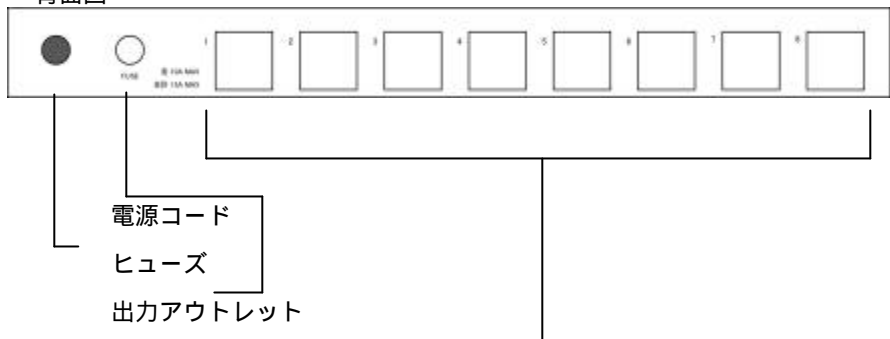
【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明
10BASE-T	10BASE-T	ネットワークに接続します。
UPS ポート （シリアル）	UPS（シリアル）	シリアル通信タイプの UPS との通信に使用するポートです。

【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明	
設定スイッチ (左から 1,2,3, 4)	DIP SW	1	使用しません。初期値：上向き
		2	接点式 UPS を接続して使用する際に下向きにして使用します。初期値：上向き
		3	本商品の設定をする際に下向きにして使用します。初期値：上向き
		4	使用しません。初期値：上向き
UPS ポート (接点)	UPS (接点)	接点通信タイプの UPS との通信に使用するポートです。 設定スイッチの 2 を ON (下向き) にする必要があります。	
TMP ポート	TMP	温度センサを接続します。	
MASTER ポート	MASTER	使用しません。	
SLAVE ポート	SLAVE	使用しません。	
ID スイッチ	ID	使用しません。全て OFF (上向き) にしてください。	
SHUTDOWN I/F ポート	SHUTDOWN I/F	シャットダウンケーブル (XH-9609) を接続します。	

背面図



【コネクタ等】

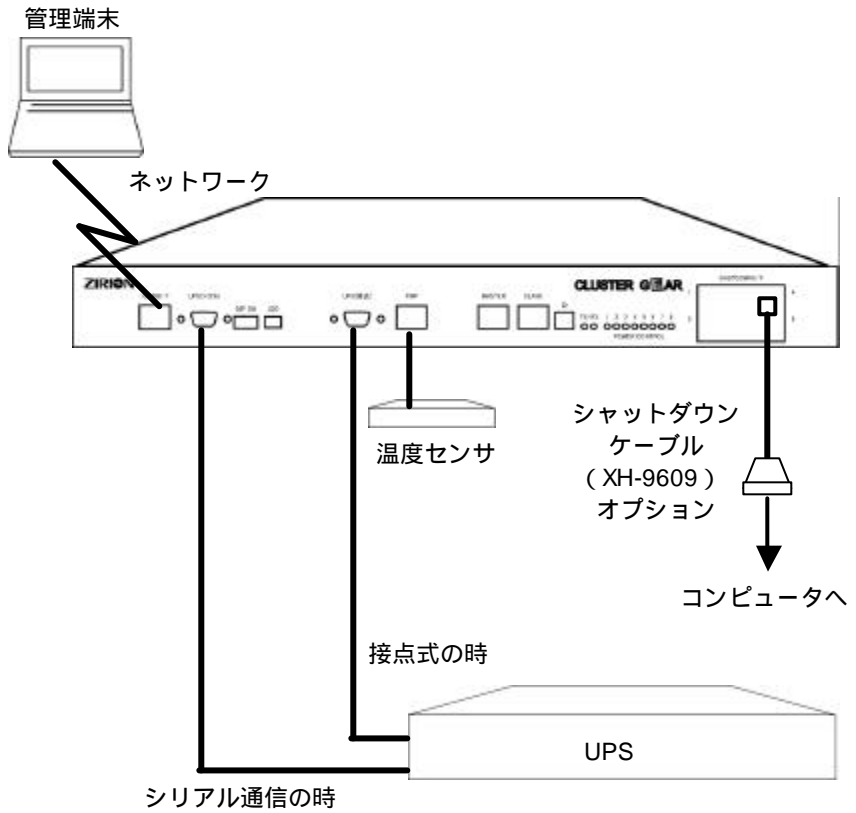
名称	表示	機能の説明
電源コード	なし	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。
ヒューズ	FUSE	過電流防止用ヒューズです。
出力アウトレット (アクティブ、スタンバイ)	なし	本商品に機器を接続するコンセントです。 1,3,5,7 のコンセントをアクティブ、 2,4,6,8 をスタンバイと呼びます。

2

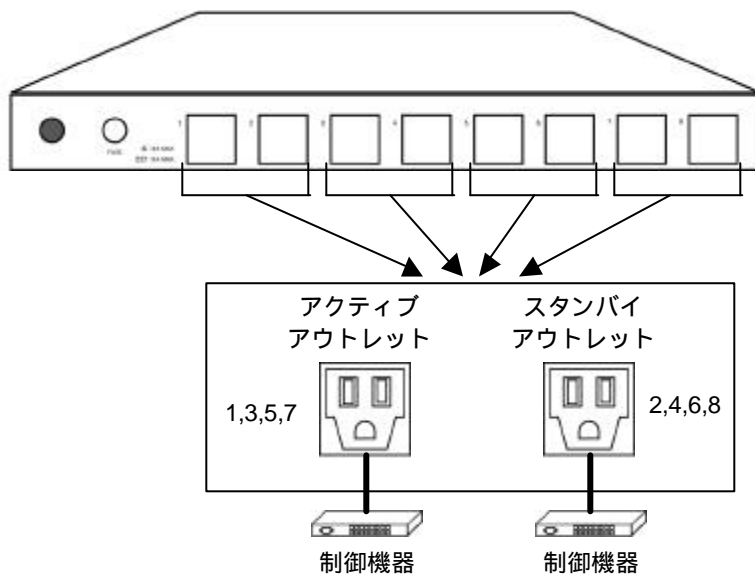
接続方法

2-1 接続方法

1. 正面接続図



2.背面接続図



2-2 対応 UPS

本商品に接続できる UPS は以下のものがあります。

- シリアル通信式 UPS
- 接点式 UPS

シリアル通信式 UPS については、下記の UPS に対応しています。

Z-55 シリーズ (ジリオン・ネットワークス社製)

BM-FND /FNX シリーズ (ジーエス・イーイー社製)

MEMO

3

初期設定



3-1 コンソールで接続

Windows のハイパーターミナルが動作する端末を本商品の UPS (シリアル) ポートに接続します。

接続ケーブルは本商品に付属の設定用ケーブルを使用してください。

パソコンと本商品とを設定用ケーブルで接続し、以下の手順でハイパーターミナルを起動します。ただし、お使いになるパソコンに、ハイパーターミナルがインストールされていることが必須です。

1. Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、 [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが現れますので、「名前」の欄に "hypertrm.exe" と入力し、 [OK] ボタンをクリックします。
3. 「接続の設定」ウィンドウが現れますので、名前を入力し、好きなアイコンをクリックし、 [OK] ボタンをクリックします。
4. 「電話番号」ウィンドウが現れますので、 [接続方法] の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、"COM1" を選択し、 [OK] ボタンをクリックします。ただし、ここでは、設定用ケーブルが COM1 に接続されているものとします。
5. 「COM1 のプロパティ」というウィンドウが現れますので、「ビット/秒」の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、"38400" を選択します。
続いて、「データビット」の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、"7" を選択します。
選択が終了したら、 [OK] ボタンをクリックします。
6. 取扱説明書の 3-2 ~ 3-10 に従って設定を行います。
7. ハイパーターミナルのメインメニューの [ファイル] をクリックし、 [ハイパーターミナルの終了] をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうか聞いてきますので、 [はい] ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保存するかどうか聞いてきますので、 [はい] ボタンをクリックします。
8. Windows のタスクバーの [スタート] [プログラム] [アクセサリ] [通信] [ハイパーターミナル] のフォルダに、 "<name>.ht" (<name> は、3. で入力した名前) というファイルが作成されます。次回からは、 "<name>.ht" をクリックしてハイパーターミナルを起動し、6. の操作を行えば設定が可能となります。

3-2 ログイン

1. 本商品前面の設定スイッチの 3 を の向き (下向き) に倒します。
2. ハイパーターミナルを接続した状態 (3-1 参照) で、本商品の電源を入れます。



3. Testing Memory, Testing Loopback に続き、Password:が表示されますので、パスワードを入力し Enter キーを押してください。

< 出荷時の設定 >

Password: magic

```

-----
                CLUSTER GEAR
                Software Version 1.01-CG
                Copyright(C) 2004, ZIRION NETWORKS, Inc.
                All Rights Reserved
-----
Password:

```

3-3 メインメニュー

ログインが完了すると、次のような MAIN MENU 画面が表示されます。

Select Number: に実行する項目ナンバーを入力し、Enter キーを押すと、1 から 7 を選択した場合は、指定した画面に移動します。

8、9 を選択した場合は、Enter キーを押した後、YES[Y] / NO[N] と処理の確認が要求されますので、YES の場合は、y(Y)を、NO の場合は、n(N)を入力後、Enter キーを押してください。

```

- MAIN MENU -
SETTING
1.SYSTEM SETTING
2.UPS SETTING
3.TMP SETTING
4.SNMP SETTING
5.SECURITY SETTING
6.IP FILTERING
7.USER REGISTRATION
EXIT
8.SAVE
9.QUIT WITHOUT SAVE

```

Select Number:

画面の説明	
1.SYSTEM SETTING	IP アドレス等の基本機能の設定を行います。
2.UPS SETTING	UPS に関する設定を行います。
3.TMP SETTING	温度センサに関する設定を行います。
4.SNMP SETTING	SNMP に関する設定を行います。
5.SECURITY SETTING	セキュリティに関する設定を行います。
6.IP FILTERING	特定の IP アドレス以外からの通信を遮断します。
7.USER REGISTRATION	ユーザ登録を行います。
8.SAVE	設定内容を保存して設定画面を終了します。
9.QUIT WITHOUT SAVE	設定内容を保存せずに設定画面を終了します。

3-4 システム設定

MAIN MENU で 1 を選択すると、次のような SYSTEM SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目ナンバーを入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- SYSTEM SETTING -

Ethernet Address <00E03EFFFFFF>

1.IP Address 192.168.10.1

2.Subnet Mask 255.255.255.0

3.Default Gateway IP Addr 0.0.0.0

4.Mail Server IP Address 0.0.0.0

5.Web Port 80

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Ethernet Address	本商品の MAC アドレスが表示されます。 これは、変更できません。
1.IP Address	10-BASE ポートで本商品の Web 画面にアクセスする際の現在設定されている IP アドレスを表示します。 デフォルト値：「192.168.10.1」
2.Subnet Mask	10-BASE ポートで本商品の Web 画面にアクセスする際の現在設定されているサブネットマスクを表示します。 デフォルト値：「255.255.255.0」
3.Default Gateway IP Addr	デフォルトゲートウェイの現在設定されている内容を表示します。
4.Mail Server IP Address	現在設定されているメールサーバの IP アドレスを表示します。 デフォルト値：「0.0.0.0」
5.Web Port	Web サーバのポート番号を表示します。 デフォルト値：「80」

3-5 UPS 設定

MAIN MENU で 2 を選択すると、次のような UPS SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目ナンバーを入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- UPS SETTING -

- 1.UPS Model Number 150
- 2.Monitor Interval 10
- 3.Alarm Wait Time 60
- 4.Shutdown Enabled 1(1:enabled,2:disabled)

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
1.UPS Model Number	UPSのモデルを指定します。接点式UPSの場合は、変更の必要はありません。 110:FND シリーズ 115:FNXシリーズ 150:Z-55 シリーズ デフォルト値：「150」
2.Monitor Interval	UPS 情報のモニタリング時間間隔を設定します。単位は「秒」です。 デフォルト値：「10」
3.Alarm Wait Time	本商品に設定する停電確認時間を指定します。出荷時の設定は 60 です。 停電確認時間の詳細については、「7-2-2 停電発生時のシャットダウンシーケンス」を参照してください。
4.Shutdown Enabled	UPS 出力停止信号の有効 / 無効を設定します。 デフォルト値：「1」（有効）

3-7 SNMP 設定

MAIN MENU で 4 を選択すると、次のような SNMP SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- SNMP SETTING -

1.SNMP Enabled	1(1:enabled,2:disabled)
2.SET Community	public
3.GET Community	public
4.sysContact	support@zirion.co.jp
5.sysLocation	Nowhere
6.sysName	Noname

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
1.SNMP Enabled	1.enabled: SNMP 機能を有効にします。 2.disabled: SNMP 機能を無効にします。 デフォルト値: 「1」(enabled)
2.SET Community	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されている SET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値: 「public」
3.GET Community	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されている GET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値: 「public」
4.sysContact	連絡先を表示します。 デフォルト値: 「support@zirion.co.jp」
5.sysLocation	設置場所を表示します。出荷時には何も設定されていません。
6.sysName	システム名を表示します。出荷時には何も設定されていません。

MEMO

sysContact で設定した連絡先は、メールを送信する設定ではありません。

3-8 セキュリティ設定

MAIN MENU で 5 を選択すると、次のような SECURITY SETTING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- SECURITY SETTING -

Access Mode

1.Mode 1(1:NORMAL,2:SECURE)

Manager IP Address

2.Manager1 0.0.0.0/32

3.Level1 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

4.Manager2 0.0.0.0/32

5.Level2 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

6.Manager3 0.0.0.0/32

7.Level3 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

8.Manager4 0.0.0.0/32

9.Level4 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

A.Manager5 0.0.0.0/32

B.Level5 3(1:IDENT,2:CONTROL,3:ADMIN)

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Access Mode	IP アドレスでアクセスを制限します。 1. normal: どのコンピュータからでもアクセス可能 2. secure: 指定したコンピュータのみアクセス可能 この場合、指定したコンピュータ以外からは、SNMP の GET、ping のみ可能になります。
Manager IP Address	現在設定されているアクセスを許可するコンピュータの IP アドレス、サブネットマスク、レベル(セキュリティ)を設定します。 レベルには次の3つがあります。 IDENT リアルタイムモニタのみ使用可能です。 CONTROL セキュリティ設定を除く操作が可能です。 ADMIN 全て操作可能です。



サブネットマスクは、ネットワークアドレスが先頭から何ビットまでかを記述します。

(例) IP アドレス帯 192.168.10.1 ~ 192.168.10.255、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスを指定する場合、192.168.10.1/24 と指定します。

固定 IP アドレスを指定する場合、(例) 192.168.10.123、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスのみ許可する場合は、192.168.10.123 (/以降は何も入力しない) にします。

3-9 フィルタ設定

MAIN MENU で 6 を選択すると、次のような IP FILTERING メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- IP FILTERING -

IP Filtering	0.0.0.0
1.IP Filter1	0.0.0.0
2.IP Filter2	0.0.0.0
3.IP Filter3	0.0.0.0
4.IP Filter4	0.0.0.0
5.IP Filter5	0.0.0.0
6.IP Filter6	0.0.0.0
7.IP Filter7	0.0.0.0
8.IP Filter8	0.0.0.0

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
IP Filtering	指定した IP アドレス以外からのアクセスを受け付けません。

3-10 ユーザ設定

MAIN MENU で 7 を選択すると、次のような USER REGISTRATION メニューの画面になります。Select Number に実行する項目番号を入力し、Enter キーを押すと、各項目の入力画面を表示します。

値を入力し、Enter キーを押すと、設定が更新されます。

入力完了後、m(M)を入力し、Enter キーを押すと、MAIN MENU 画面に移動します。

- USER REGISTRATION -

Administrator
1.Admin Password *

Select Number(M:MAIN MENU):

画面の説明	
Administrator	Web 画面にアクセスするアドミニストレータ(管理者ユーザ)のパスワードの登録を行います。 初期値は、「magic」です。

4

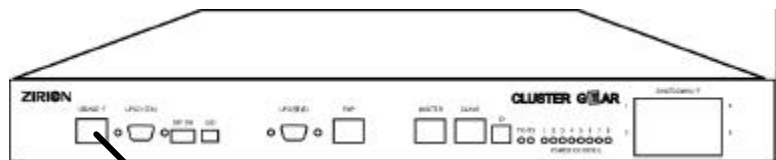
Web での 操作

ネットワークに接続するための設定方法について説明します。

4-1 Web で接続

Ethernet カード（10BASE-T 対応）を装備した端末を本商品の 10BASE-T ポートに接続します。接続ケーブルは、本商品と端末を直接接続する場合は、CAT3 以上のクロスケーブルを使用してください。

本商品	出荷時	
	IP アドレス	192.168.10.1
	サブネットマスク	255.255.255.0



ネットワーク



管理端末

Web ブラウザ
IE5.5 ServicePack2 以降または
Netscape Communicator4.73 以降

4-2 ログイン

下記の手順に従い本商品にログインします。

1. ブラウザからログインするためには、本商品に設定した IP アドレスをブラウザアドレス部分に入力します。入力する際、最初に「http://」と入力してください。その後設定した IP アドレスを入力してください。出荷時の IP アドレスは 192.168.10.1 となっております。
2. 図のようなログイン画面が表示されます。ユーザ名・パスワードを入力してください。出荷時のユーザ名は「admin」、パスワードは「magic」となっています。入力後「ログイン」ボタンをクリックします。
画面が表示されない時は、通信条件等の設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

プロキシサーバをご使用の場合は、ブラウザのプロキシ設定の例外に本商品の IP アドレスを設定してください。

ログイン後の Web 画面が正常に表示されない場合は、JavaScript が有効に設定されていることを確認してください。

http://設定した IP アドレスを入力



出荷時のユーザ名：admin
パスワード：magic



4-3 操作画面について

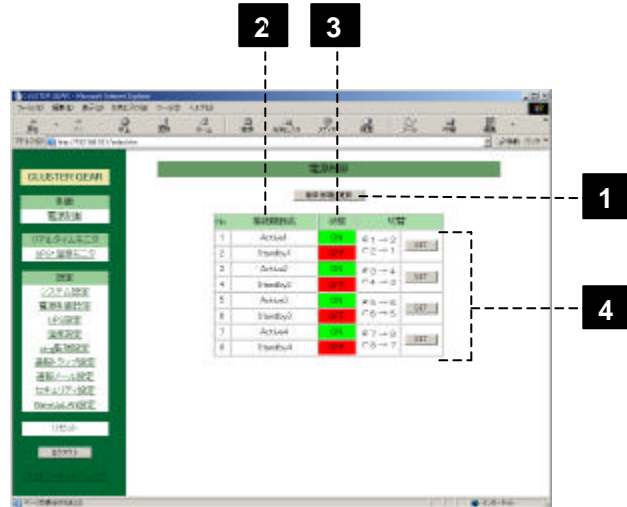
本商品の画面は、次のような構成になっています。



画面の説明	
1.制御	電源制御を行います。
2.リアルタイムモニタ	UPS 状態と温度情報をリアルタイムに表示します。
3.設定	本商品のシステム及び接続されているポート等、各項目の設定を行います。
4.リセット	本商品をリセットします。 リセット実行時、Web 接続は強制的に切断されますので、再度ログインが必要です。
5.ログアウト	操作を終了する場合にクリックします。
6.メイン画面	各メニューの設定画面や情報画面が表示されます。

4-4 電源制御画面

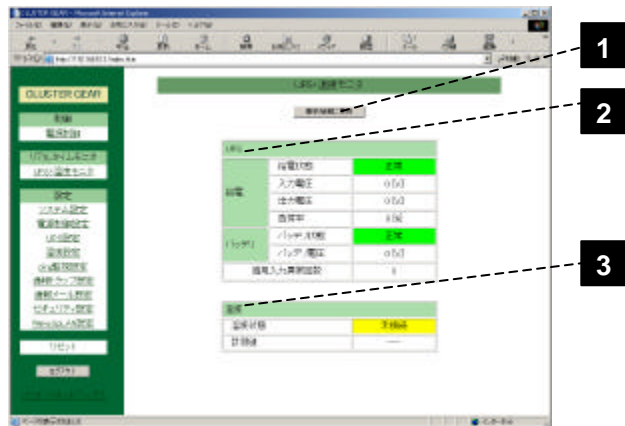
各コンセントの出力状態を表示し、アクティブ、スタンバイの出力を制御します。



画面の説明	
1.最新の情報に更新ボタン	最新の情報を表示します。
2.接続機器名	「制御設定画面」で設定した名前を表示します。
3.状態	コンセントの出力状態を表示します。状態によってセルの色が変わります。 出力 ON の場合：「緑色」 出力 OFF の場合：「赤色」
4.操作ボタン	コンセントの出力を制御します。 操作を選択し、「SET」ボタンを押します。 (例) 「1 2」を選択し、SETボタンを押した場合 アクティブ(1)をOFF スタンバイ(2)をON コンセント出力の遅延時間等の設定は、「電源制御設定画面」で行います。

4-5 リアルタイムモニタ画面

UPS 状態と温度情報をリアルタイムに表示します。



画面の説明		
1.最新の情報に更新ボタン		表示内容を最新の情報に更新します。
2.UPS	給電	UPS の給電状況が表示されます。
	バッテリー	UPS のバッテリー情報が表示されます。
	商用入力異常回数	本商品が動作を開始してから UPS に異常が起きた回数を表示します。
3.温度	温度状態	温度センサが接続されていない場合は、「未接続」と表示されます。
	計測値	温度の計測値が表示されます。

4-6 設定

4-6-1 システム設定画面

システムに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明	
1. ネットワーク情報	本商品の 10BASE-T ネットワーク情報を設定します。設定変更内容は、本体リセット後に反映されます。
	MAC アドレス MAC アドレスを表示します
	IP アドレス (*) IPアドレスを設定します。 デフォルト値：「 192.168.10.1 」
	サブネットマスク (*) サブネットマスクを設定します。 デフォルト値：「 255.255.255.0 」
	デフォルトゲートウェイ (*) デフォルトゲートウェイを設定します。
2. システム情報	エージェントバージョン 本商品のファームウェアのバージョン番号が表示されます。
	機器名称 本商品の名称を設定します。
	システム名称 本商品を特定する為の情報を設定します。
	システムの設置場所 本商品の設置場所の情報を設定します。
	管理者 管理者のメールアドレスを設定します。メールを送信する機能ではありません。

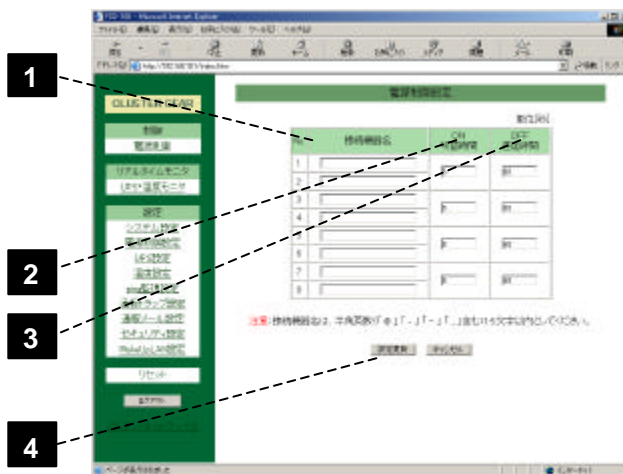


(*) 印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

画面の説明		
2.システム情報	自動ログアウト時間	本商品に対して一定の時間アクセスがなかった場合にログアウトする時間を設定します。 デフォルト値：「600」秒
3.SNMP 情報	SET コミュニティ名	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されているSET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値：「public 」
	GET コミュニティ名	SNMP マネージャからアクセスする場合の現在設定されているGET コミュニティ名を表示します。 デフォルト値：「public 」
4.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	

4-6-2 電源制御設定画面

各コンセント出力に関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明	
1.接続機器名	本商品の個別のアウトレットそれぞれに対して名前を定義し、各アウトレットに接続された機器を識別することが出来ます。半角英数字で最大15文字まで指定できます。
2.ON 切替時間	対になる出力アウトレットの電源が投入されるまでの切替時間を設定します。 この設定により、本商品に接続されている機器を指定した順番に、指定したタイミングで起動することが可能です。
3.OFF 遅延時間	各アウトレットの電源出力を停止する際の遅延時間を設定します。 この設定により、サーバを正常にシャットダウンしてから電源出力を停止することが可能になります。
4.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。

4-6-3 UPS 設定画面

UPS（シリアル）ポート、および UPS（接点）ポートに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.UPS	UPSモニタ時間間隔[秒]	UPS情報のモニタリング時間間隔を設定します。
	停電確認時間[秒]	本商品に設定する停電確認時間を[秒]単位で指定します。 停電確認時間の詳細については、「7-2-2 停電発生時のシャットダウンシーケンス」を参照してください。
	UPS自動停止（*）	UPS出力停止信号の有効/無効を設定します。
	停電検知レベル（*）	接点式UPSの信号レベルを設定します。
	ローバッテリー検知レベル（*）	接点式UPSの信号レベルを設定します。
	シャットダウン信号レベル（*）	接点式UPSの信号レベルを設定します。
	UPSモデル（*）	UPSのモデルを指定します。接点式UPSの場合は、変更の必要はありません。 110:FND シリーズ 115:FNXシリーズ 150:Z-55シリーズ
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



（*）印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

4-6-4 温度設定画面

温度センサに関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.温度	温度計測	温度計測の有効／無効を設定します。 デフォルト値：「無効」
	上限温度	温度の計測値が指定した値を超えるとメール・SNMPトラップで警報を通知することが可能です。 本商品に電源が投入された時の温度計測値がこの値を超えていた場合、アラーム解除温度以下になるまでアウトレット出力を開始しません。 単位は、1 です。
	アラーム解除温度	温度異常による警報を解除する温度を指定します。 単位は、1 です。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	

4-6-5 ping 監視設定画面

接続された機器の死活監視（ping 送信）を行い、ネットワーク障害発生時の動作を設定します。ネットワーク障害発生時にアクティブからスタンバイに出力を切り替えることが可能です。



画面の説明		
1.操作項目	IP アドレス	監視対象機器の IP アドレスを設定します。
	異常判定回数	IP FailOver 機能を動作させる判定回数を指定します。 ping 送信エラーが異常判定回数以上発生した場合に ping 送信エラーとなったアクティブアウトレット出力を OFF し、対になるスタンバイアウトレット出力を ON します。 1 と 2、3 と 4、5 と 6、7 と 8 がそれぞれ対になります。 0 に設定すると異常判定を行いません。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



ping の送信間隔は、60 秒に 1 回です。ping 送信回数の判定は、アウトレット出力が開始された時点から開始されます。コンピュータなどの接続機器が起動し、ping に対する応答を開始するまでの時間を加味して設定を行ってください。

IP FailOver 機能とは

本マニュアルで記載されている「IP FailOver 機能」とは、アクティブ側（出力アウトレット 1,3,5,7）のサーバにネットワーク障害（ping 通信異常）が発生した場合にその出力を停止し、スタンバイ側（出力アウトレット 2,4,6,8）の出力を開始する機能です。

4-6-6 通報トラップ設定画面

SNMP トラップによる通報に関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.SNMP トラップ	トラップコミュニティ名	現在設定されているトラップコミュニティ名を表示します デフォルト値：「public」
	トラップ送信先	トラップ送信先と送信回数を設定します。
	セキュリティ違反時のトラップ機能	セキュリティ違反時のトラップ送信の有効/無効を設定します。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	

4-6-7 通報メール設定画面

メールによる通報に関する各情報の表示や変更を行います。



画面の説明		
1.メール	メールサーバ (SMTP)	現在設定されているSMTP サーバアドレスを表示、設定します。 デフォルト値：「0.0.0.0」
	POP 認証ユーザ ID	POP 認証のためのユーザ ID を設定します。
	POP 認証パスワード	POP 認証のためのユーザパスワードを設定します。
	送信元アカウント	送信元のアカウントを設定します。
	送信先アカウント	メール送信先を設定します。 5つまで設定できます。
2.通報イベント	メール送信のトリガーとなるイベントを選択できます。	
3.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



ご使用のメールサーバによっては、存在しないアカウントからの送信は受け付けられない場合があります。メールサーバの管理者に確認して設定を行ってください。

4-6-8 セキュリティ設定画面

本商品へのアクセスを制御するための設定です。



画面の説明		
1.アクセス制限	セキュリティ機能 (*)	有効を選択した場合、本商品へのアクセスを制限するセキュリティ機能が有効になります。
	アクセスを許可するIPアドレス	本商品へのアクセスを許可するホストのIPアドレス、サブネットマスク、レベル(セキュリティ)を設定します。 レベルには次の3つがあります。 admin 全て操作可能です。 control セキュリティ設定を除く操作が可能です。 ident リアルタイムモニタのみ使用可能です。
2.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。	



(*)印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

サブネットネットワークマスクは、ネットワークアドレスが先頭から何ビットまでかを記述します。

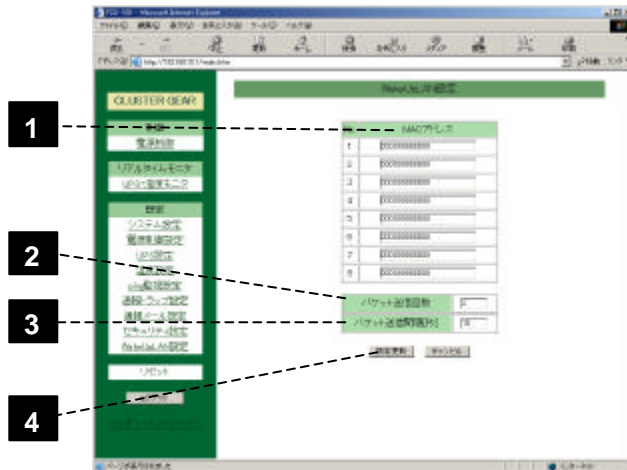
(例) IPアドレス帯 192.168.10.1 ~ 192.168.10.255、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスを指定する場合、IPアドレス欄には、「192.168.10.1」、サブネットマスク欄には「24」と入力します。

固定IPアドレスを指定する場合、(例) 192.168.10.123、サブネットマスク 255.255.255.0 からのアクセスのみ許可する場合は、IPアドレス欄に、「192.168.10.123」、サブネットマスク欄は空「」(何も入力しない)にします。



4-6-9 WakeUpLAN 設定画面

Wakeup ON LAN 機能を使用してコンピュータを起動する際の設定を行う画面です。



画面の説明	
1.MAC アドレス	Wakeup On LAN パケットの送信先コンピュータの MAC アドレスを設定します。
2.パケット送信回数	Wakeup On LANパケットの送信回数を設定します。
3.パケット送信間隔	Wakeup On LANパケットの送信間隔を設定します。単位は[秒]です。
4.設定更新ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所が入力前にもどります。

4-7 リセット画面

設定変更後等に本商品をリセットすることができます。



画面の説明

1.リセット

本商品のソフトウェアリセットを実行します。
リセット実行前に以下の確認ダイアログを表示します。



リセットを実行すると、1,3,5,7 のアクティブ側アウトレットの出力が開始され、2,4,6,8 のスタンバイ側アウトレットの出力が停止した状態になります。



PowerMonitor for PSS がコンピュータにインストールされた状態でスタンバイ側のアウトレット出力が開始された状態でリセット操作が実行されると、スタンバイ側がソフトウェアと連動してスタンバイ側のコンピュータのシャットダウンが行われ、スタンバイ側のアウトレット出力が停止されます。その後、アクティブ側のアウトレット出力が開始されます。

4-8 ログアウト画面

操作
手順

下記の手順に従い本商品からログアウトします。

1. ログアウトするには左側メニューから [ログアウト] ボタンを押し、終了させてください。再びログインするには、ブラウザを立ち上げ「IP アドレス」を入力してください。



2. [ログアウト] ボタンをクリックするとログイン画面に変わります。



MEMO

タイムアウト時のメニュークリック時は「Access denied」と表示します。

5

TELNET サーバ機能



本商品は、ネットワーク（10BASAE-T）経由で本商品の TELNET サーバへ接続して、遠隔からの状態取得を行うことが可能です。

5-1 TELNET サーバへの接続

1. 「telnet_「本商品の IP アドレス」_「8000」」として接続します。（「_」はスペースを示します。）

例：商品の IP アドレスが 192.168.10.123 の場合（TCP ポート番号は、8000 固定です。）

```
telnet_192.168.10.123_8000  
と入力し、Enter キーを押します。
```

2. TELNET サーバと接続され、下図のとおり表示されます。
以降はコマンドを入力することが可能です。（入力したデータは表示（ローカルエコーバック）されません。）

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.0) ready.
```

（本商品の IP アドレスが 192.168.10.123 の場合の例）

3. 上図の状態コマンドを入力することにより状態取得が可能です。コマンドは次頁を参照してください。
4. 操作を終了する場合には、切断処理を行うか、切断コマンド（次頁を参照してください）を入力します。

コネクション切断処理を実施しないで、ハイパーターミナルやコマンドプロンプトを強制的に終了した場合、TCP コネクションが確立したままの状態が「システム設定」「自動ログアウト時間」で設定した時間だけ保持されます。

TCP ポート番号は、8000 番固定です。変更は出来ません。

5-2 コマンド書式

コマンド書式を説明します。
状態取得のコマンド書式は下記になります。

状態取得コマンド書式	
*<パスワード># POS	
コンセントの状態	
1	コンセント出力 ON (左からアウトレット 1~8 まで)
0	コンセント出力 OFF (左からアウトレット 1~8 まで)

コマンド一覧

動作	コマンド	例
状態を取得する	POS	*magic#POS
接続を切断する	exit	*magic#exit

5-3 コマンド実行例

コマンドの実行例を説明します。
ここでは、例として本商品の IP アドレスが 192.168.10.123、パスワードが「magic」の場合を説明します。<Enter>は Enter キーを押すことを現します。

- 4-1 の手順に従い、TELNET サーバに接続します。
- 次のコマンドを入力し、コンセント出力状態を取得します。
*magic#POS<Enter>
- コンセント出力状態が下図のように表示されます。
左からコンセント出力 1,2,3,4 の順番で状態を表しています。

```
220 192.168.10.123 RCON server (ZIRION v1.0) ready.  
10101010.
```

この例の場合、コンセント 1,3,5,7 が ON 状態
コンセント 2,4,6,8 が OFF 状態

- 次のコマンドを入力し、TELNET 接続を切断します。下図のように表示されます。

```
*magic#exit<Enter>
```

```
221 Goodbye.
```



TELNET 接続の切断処理を実施しないで、ハイパーターミナルやコマンドプロンプトを強制的に終了した場合、TCP コネクションが確立したままの状態が「システム設定」「自動ログアウト時間」で設定した時間だけ保持されます。

以上でコマンドの実行例は終了です。

6

SNMP 機能



本商品は、ネットワーク（10BASE-T）経由で SNMP での操作が可能です。

6-1 SNMP の使用

本商品は SNMP エージェント機能を装備しています。
SNMP マネージャを利用して、ネットワークシステムの電源管理、電源制御を統合的に行うことが可能です。

MIB について

本商品を管理するためのプライベート MIB を準備しています。

付属 CD 内 本商品-MIB (mib ファイル)

プライベート MIB ファイルを SNMP マネージャにロード・コンパイルすることにより、本商品の管理を SNMP マネージャ上で行うことが可能となります。

MIB のロード・コンパイル使用方法についての詳細は、ご利用される SNMP マネージャのマニュアルを参照してください。

7

ソフトウェア の使用

本商品は、オプションソフトウェア「PowerMonitor シリーズ」を使用することにより、アウトレットの電源出力を停止する前にコンピュータをシャットダウンする機能を装備しています。

7-1 ソフトウェアの特徴

PowerMonitor for PSS

コンピュータが接続された出力アウトレットと同じ番号の SHUTDOWN I/F ポートとコンピュータをオプションの専用ケーブルで接続します。

コンピュータには、PowerMonitor for PSS をインストールします。

本商品の Web 画面の「電源制御」からの SET、UPS 接続時の停電信号に連動してコンピュータのシャットダウンを行うことが可能です。

インストール方法については、添付 CD 内の manual フォルダにあるオンラインマニュアルを Web ブラウザから参照してください。

... /manual/index.htm

<使用にあたっての注意事項>

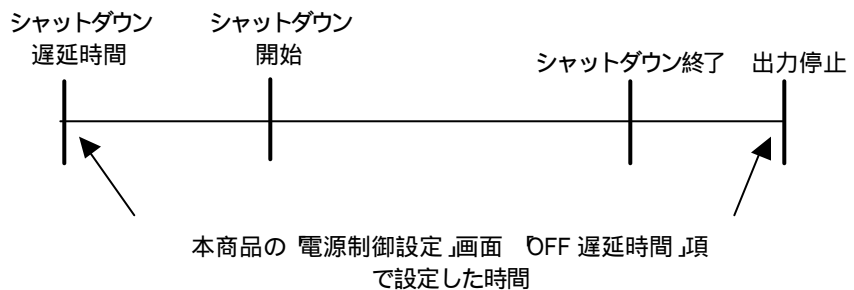
- PowerMonitor for PSS のインストール時に「UPS 機種名」を「PSS」と指定してください。
- 本商品の Web 画面の「UPS 設定」画面の「停電確認時間」項の数值は、PowerMonitor for PSS で設定した「停電確認時間」と同じ値を指定してください。
- 本商品の Web 画面の「電源制御設定」画面の「OFF 遅延時間」項の数值は、PowerMonitor for PSS で設定した「シャットダウン遅延時間」+「コンピュータがシャットダウンを開始してからシャットダウンが終了するまでの時間」の和より大きい値を指定してください。

7-2 シャットダウンシーケンス

7-2-1 「電源制御」画面から SET 操作をした時のシーケンス

本商品の Web 画面から「電源制御」画面の SET ボタンをクリックした後に表示される確認メッセージの「OK」ボタンをクリックした後にシャットダウンが開始されます。

シャットダウンが開始されてから本商品の「電源制御設定」画面の「OFF 遅延時間」項で設定した時間が経過した後、アウトレットの出力が停止されます。

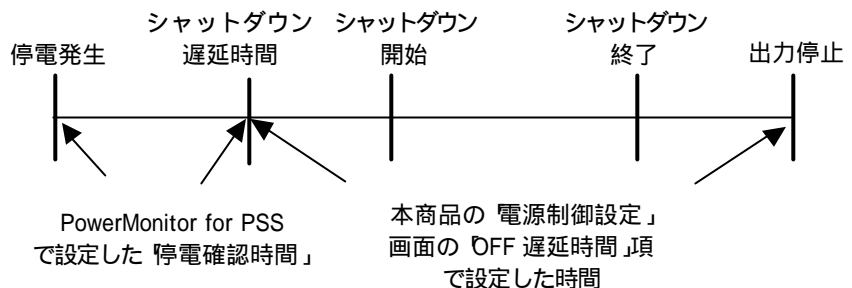


7-2-2 停電発生時のシーケンス

停電が発生してから PowerMonitor for PSS で設定した「停電確認時間」 + 「シャットダウン遅延時間」が経過した後、コンピュータのシャットダウンが開始されます。

PowerMonitor for PSS で設定した「停電確認時間」が経過してから本商品の「電源制御設定」画面の「OFF 遅延時間」項で設定した時間が経過した後、アウトレット出力が停止されます。

PowerMonitor for PSS で設定した「停電確認時間」と本商品の「UPS 設定画面」 「停電確認時間」に設定する値は同じ値を設定してください。



ご使用のコンピュータによっては、電源が投入されただけでは起動しない仕様になっている場合があります。コンピュータのマニュアルでご確認ください。不明点はコンピュータ・メーカーに問い合わせして下さい。



8

お困りの
ときには

8-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

設置に関するトラブル

a. 本商品の RUN LED が点滅しない

症状	原因と対策
RUN LED が点滅しない	<p>電源プラグが壁のコンセントから外れていないか確認してください。</p> <p>電源プラグがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などのコンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。）</p> <p>電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、ジリオン・ネットワークサポートセンターにご相談ください。</p>

b. 本商品前面の LINK LED が点滅しない

症状	原因と対策
LINK LED が点滅しない	<p>本商品と本商品の 10BASE-T に接続されているルータなどの両方の電源が入っていることを確認してください。</p> <p>ネットワークケーブルが本商品と本商品の 10BASE-T に接続されているルータなどの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</p> <p>ネットワークケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているか確認してください。</p>

b. Web ブラウザで本商品の Web 画面が表示されない

症状	原因と対策
Web ブラウザ画面のアドレスに「http://<本商品の IP アドレス>」と入力しても Web 画面が表示されない	<p>プロキシの設定をしていませんか。 プロキシの設定をしている場合受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 [ツール] [インターネットオプション] [接続] [LAN の設定]の順にクリックします。 [プロキシサーバを使用する]の[詳細]をクリックして、例外に「本製品に設定した IP アドレス」を入れてください。 本商品に他のコンピュータからのアクセスがある。 本商品へのアクセスは、その都度、1 台のコンピュータからのアクセスしか受け付けません。現在アクセスしているコンピュータでログアウト操作を行ってから他のコンピュータでアクセスしてください。 お使いのパソコンにプロキシの設定やファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。</p>
Web ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される	<p>Web ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 ユーザ名には、[admin]を入力してください。 パスワードは[magic]を入力してください。(製品出荷時の場合です。設定を変更された場合は、設定したユーザ名、パスワードを入力してください。)</p>
ページが正常に開けない	<p>Javascript を無効に設定されている Web ブラウザの設定で Javascript を有効に設定してください。</p>

d. 本商品が正常に動作しない

症状	原因と対策
本商品が正常に動作しない	<p>設定スイッチが全て OFF (上向き) の状態になっていることを確認してください。</p>

9

付録

9-1 製品仕様

定格	AC100V 50/60Hz 40W
イーサネットポート (10BASE-T)	規格 : IEEE802.3 10BASE-T MDI コネクタ : RJ45 ポート数 : 1ポート 最大配線長 : 100m(CAT3 以上)
UPS (シリアル) ポート	RS232C DB9 オス
UPS (接点) ポート	RS232C DB9 オス
TMP ポート	コネクタ : RJ45
MASTER ポート	コネクタ : RJ45
SLAVE ポート	コネクタ : RJ45
LED	LINK, I/O, RUN
	電源制御の状態表示
動作環境	温度 : 0 ~ 40 湿度 : 20 ~ 80&RH (結露なきこと)
外形寸法	W445 x D210 x H44 (mm) (突起部は除く)

9-2 お問い合わせ・ユーザ登録

ホームページ

本商品のオンライン情報サービスとして、インターネットのホームページを開設しています。

主なメニュー

- | | |
|------|---|
| お知らせ | 最新のお知らせをご提供 |
| サポート | ユーザ登録のご案内、技術情報、FAQ、サポート連絡窓口等のサポート情報をご提供 |
| 資料請求 | カタログ請求の申し込み |

ホームページアドレス (平成 15 年 11 月現在)

<http://www.zirion.co.jp>

インフォメーションサービス

本商品の機能や取り扱い方法などでご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

ジリオン・ネットワークス サポートセンター (平成 15 年 11 月現在)

E-mail: support@zirion.co.jp

お願い

お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。

お名前

電話番号

本商品の機種名「CLUSTER GEAR(PSS-108-CG)」

本商品のシリアル番号、商品の購入時期

詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容 など

パソコンの設置や操作方法などについては、パソコンのサポートセンターなどにお問い合わせください。

修理について

修理

万一装置に故障が発生した場合、お買い求めの販売店、またはジリオン・ネットワークス保守サービス受付へご連絡ください。

修理費用

当社規定の費用をお支払いいただきます。ただし、ご購入後 1 年以内の故障につきましては、保証書をご持参いただいた場合に限り、保証書に記載された保証規定に従って無料で修理いたします。

保証書

保証書は、販売店で所定事項に記入いたします。保証期間、ご購入店名、記載事項をご確認の上、大切に保管してください。

保守サービス時間帯

9:30～18:00（土・日・祭日を除く）